

## 第6回青森県民駅伝競走大会レースの概要

### 第1区（八甲田丸～フェリー埠頭；5.495 km 一般）

気温30度。真夏のような暑さの中、水色のタスキを肩から下げたランナーが木村知事の号砲の中、正午に一齐にスタートした。

スタートしてしばらくの間は、昨年の区間賞八戸市の赤間選手あたりを中心にレースが展開され、ベイブリッジを上り始めるあたりには十数名の集団になり、下り終わるころには、区間トップが三戸町の中山選手、青森市の河野選手、福地村の北山選手の3人に絞られてきた。1区から2区へのリレーは福地村が青森市に2秒の差をつけタスキを渡した。町の部では三戸町がトップでタスキを渡した。また、社会人や大学生に交じりながら高校1年生の中里町伊藤選手が5位と健闘した。

### 第2区（フェリー埠頭～旧聖徳公園前；3.2 km 中学男子）

青森市の工藤選手が1kmを過ぎたあたりからトップにたち、2位争いをする福地村と三戸町に約10秒の差をつけタスキを渡す。2位以下は、三戸町、福地村と続き、1区で出遅れた黒石市は盛選手が区間最高記録で健闘し、4位まで上がってきた。また、森田村の台丸谷選手は15人抜きをする活躍で、総合28位から13位まで一気に順位を上げた。町の部では昨年優勝した東北町が、1区の遅れを取り返し2位まで順位を上げてきた。

### 第3区（旧聖徳公園前～合浦公園；2.9 km 女子）

青森市の阿部選手が100m程の差を維持しながらそのままトップで4区の選手にタスキを渡す。また、市の部では黒石市が2位と健闘を見せている。総合2位、町の部1位には区間2位の野田頭選手を起用した東北町が上がってきた。町の部は2位は三戸町、3位には区間最高記録の永井選手を起用した大鰐町がそれぞれ上がってきた。村の部は1区での貯金を保っている福地村がそのまま1位でタスキを渡した。

### 第4区（合浦公園～野内；4.0 km 一般）

総合2位でタスキを受け取った東北町が途中青森市との差をつめるが、青森市の加藤選手が冷静な走りで、中継所では逆に30秒程の差をつける。また、むつ市の高校1年生の江村選手が区間2位の力走を見せ、総合で3位に上がる。村の部は福地村が引き続きトップであるが、2位に上がった天間林村が徐々にその差をつめてきた。また、区間最高記録は八戸市の三上選手で八戸市の後半の追い上げのきっかけとなった。

野内中継所では、昨年と比較して5チーム多い13チームが繰り上げスタートとなった。

#### 第5区（野内～諏訪沢；5.3 km 一般）

トップの青森市の奈良岡選手は順調な走りを見せ、昨年の4区に続き区間賞を奪い、2位に上がってきたむつ市に約1分の大差をつけて独走態勢に入る。3位以下は八戸市、黒石市と市の部が上位を占めてきた。町の部では五戸町が追い上げを見せ、1位の東北町に2秒差と迫る。村の部の上位2チームは変わらないものの、3位に前大会優勝の六ヶ所村が上がってきた。

#### 第6区（諏訪沢～戸山団地；5.4 km 一般）

八戸市の柴田選手が区間最高記録で市の部で2位に上がってくる。しかし、青森市も順調に走りその差は1分少々となかなか縮まらない。町の部では五戸町が東北町をかわしトップに立ち、20秒ほどの差をつける。3位は六戸町がその位置を4区から保ち続けている。村の部は、天間林村が福地村に3秒の差をつけ逆転しトップに立った。

戸山団地中継所では、昨年と比較して4チーム多い15チームが繰り上げスタートとなった。

#### 第7区（戸山団地～幸畑；3.7 km 女子）

トップ青森市は2位の八戸市に10秒ほどの差を縮められたが、まだ1分近い差がある。町の部は五戸町と東北町がトップ争いをしているが、東北町が差をつめ10秒ほどの差となった。また、昨年3区で区間新の築館選手が今大会もこの区間を区間新記録で走破し、大鰐町が上位2チームとの差を縮め、町の部の3位に上がってきた。村の部は、再び福地村が逆転し、2位天間林村に1分以上の差をつける。さらに、六ヶ所村が天間林村との差を20秒弱まで縮めた。

#### 第8区（幸畑～流通団地入り口；5.2 km 一般）

八戸市が徐々に追い上げを見せ青森市との差を40秒ほどにする。また、総合3位には、再び五戸町を逆転した東北町が、区間最高記録の蓬畑選手の活躍で上がってきた。市の部3位は6区からむつ市がキープしている。村の部の2位、3位は差が変わらないまま、天間林村、六ヶ所村と続いている。

流通団地中継所では、昨年と比較して8チーム多い31チームが繰り上げスタートとなった。

#### 第9区（流通団地入り口～細越；3.2 km 40歳以上男子）

八戸市のベテラン風張選手が区間最高記録の追い上げを見せ青森市に17秒差と迫り最終区間に逆転の望みをつなく。町の部では上位の順位に変動がなく、東北町が逃げ切る勢いになってきた。村の部は、2位に六ヶ所村が上がってきて、福地村との差を徐々につめてきた。

#### 第10区（細越～県陸上競技場；3.8 km 中学男子）

ゴールに向かい力走する最終区間。スタート直後から降り出した雨にもかかわらず最終ランナーの中学生に沿道の力強い声援がとぶ。青森市は1区を走った河野選手の弟が、兄から始まったタスキを確実につなぎ八戸市との差を徐々に開き

ながら、小学校陸上競技大会で賑わう県総合運動公園にゴールした。昨年、市の部で優勝した青森市が悲願の総合優勝を果たした。総合2位には後半追い上げを見せた八戸市が入り、3位には昨年の覇者東北町が町の部の1位としてゴールした。町の部2位は総合順位5位の五戸町が入り、3位には総合順位6位で大鱈町が入った。村の部は六ヶ所村の5年連続の優勝を破った福地村が初優勝を飾った。福地村は6区で六ヶ所村に首位を譲ったものの、それ以外の区間では全て1位で通過し、安定した力を見せた。2位には、六ヶ所村、3位には昨年4位の天間林村が入った。最終区の区間最高記録は野辺地町の江刺家選手が獲得した。